



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和3年12月17日（金曜日） 午後3時～午後3時20分	
場 所	文化センター4階 小ホール	
出席委員名	小 橋 秀 生（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子
委員を除く出席者の職・氏名	部 長 辻 和 彦 部付部長 田 中 孝 治 部 次 長 川 中 尚 部 次 長 佐 野 泰 博 （生涯学習センター館長事務取扱） 教育総務課長 長 尾 忠 行 学校教育課長 古 住 新 社会教育課長 辻 博 之 文化財保護課長 八十島 豊 成 保育・幼稚園課長 成 田 孝 一	教育支援センター所長 濱 田 将 行 教育集会所館長 畑 中 敏 之 図書館長 佐 野 正 樹 学校教育課主幹 有 野 靖 一 学校教育課主幹 四 本 篤 史 保育・幼稚園課主幹 高 瀬 栄津子 教育集会所主幹 橋 伸 吾 教育総務課主幹 山 口 潤 也
1. 開 会		
2. 報 告 事 項		
(1) 市議会第4回定例会への請願について (教育部長) ※資料1		
(2) 2021八幡市民マラソン大会参加状況について (社会教育課) ※資料2		
3. 議 題（協議事項）		
(1) 八幡市の教育行政について		
4. その他		
・ 学校訪問について		
5. 配布資料		
・ きょうとふの教育 No. 148		
・ 京都市町村教育委員会連合会情報誌 No. 3		
・ 6・7・8月分議事録（写し）		
6. 閉 会		
※次回定例教育委員会		
日時：1月25日（火）午後3時から		
場所：分庁舎2階 会議室A		
※学校訪問先		
有都こども園（10：30）		
男山第東中学校（11：30）		



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会</p> <p>それでは、令和3年12月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>2. 報告事項をお願いします。(1)市議会第4回定例会への請願について、事務局より報告願います。教育部長。</p>
[辻 部 長]	<p>2. 報 告 事 項</p> <p>(1)市議会第4回定例会への請願について</p> <p>市議会第4回定例会の請願についてご説明させていただきます。資料1をご覧ください。請願名は、「子育てを応援し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」というものでございます。</p> <p>この請願は、12月20日、週明けの月曜日の文教厚生常任委員会で審査されまして、委員会の採決が行われます。その後、12月23日木曜日の本会議最終日に委員長報告の後、本会議で採決が行われます。</p> <p>ちなみに、請願事項のうち、1から5までございますけれども、そのうち3、4、5の3点が教育部の関係する請願となっております。また、幼稚園に関係する請願としても3番に入っておりますので、ご報告いたします。</p>
[教 育 長]	<p>ただいまの報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>次に、(2)2021八幡市民マラソン大会参加状況について、事務局より報告願います。社会教育課。</p>
[辻 課 長]	<p>(2)2021八幡市民マラソン大会の参加状況について</p> <p>2021八幡市民マラソン大会参加状況についてご報告をいたします。恐れ入りますが、資料2をご覧ください。</p> <p>12月5日、八幡市民スポーツ公園を発着点とし、2021八幡市民マラソン大会が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として規模を縮小し、開催をしたところでございます。当日は、2キロ・3キロ・10キロの種目に573人の参加があり、天候にも恵まれ、無事に大会を終えることができました。</p> <p>以上、報告いたします。</p>
[教 育 長]	<p>ありがとうございます。ただいまの報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは、ないようでありますので、これにて報告事項を終結いたします。</p> <p>次に、3. 議題に入らせていただきます。(1)八幡市の教育行政についてを議題とします。</p>
[教 育 長]	<p>3. 議 題 (協 議 事 項)</p> <p>(1)八幡市の教育行政について</p> <p>本日、案件はございませんが、委員の皆様からご意見・ご質問等、何かございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ないようでございますので、これにて議題のほうを終結いたします。</p> <p>次に、4. その他に入らせていただきます。</p> <p>本日の学校訪問についてのご意見はございますか。</p>
[狩 野 委 員]	<p>4. その他</p> <p>・学校訪問について</p> <p>本日、有都小学校と美濃山小学校を訪問させていただきました。本当に八幡の中で一番小さな小学校と一番大きな小学校ということで、それぞれの学校で抱えていらっしゃる問題が多くあることを伺ってきまして、特に最近、心を病まれる先生方が多いことや産休等で休まれている間の本務者の教員数がなかなかそろわないというような状況があるということも伺ってききました。本当に世の中全体的にも、やはりちょっとしたことで心を病まれる方が多いかなと思います。そこら辺に対する対応を聞かせていただけますか。</p>
[川 中 次 長]	<p>教職員のメンタルへの配慮でございますけれども、現状といたしましては、正直なところな</p>



かなか打つ手はないのが現実かなと思っています。府のほうでは、メンタルサポートという形で管理職員を含めて、そういうメンタルに悩んでいる先生方にどのように対応していくのかというような相談でありますとか、当然ながらメンタルに気をつけるための、そういう冊子や研修を十分実施していますが、現実問題この状況下ではかなり厳しいのではないかなと思っています。ただ、私どもといたしましても、昨年度から教職員のストレスチェックを年に1回でございますけれども、小・中学校の教職員の方には実施をしているところでして、今後、そういう保健衛生体制につきましても、学校の衛生委員会でありますとか、そういうところを活用しながら取組を進めてまいりたいと考えているところでございます。

[教 育 長]

他に何かご質問・ご意見等はございませんか。

[橋 本 委 員]

コロナ禍の中で様々な弊害が、今年だけじゃなくて前年、2年間にわたって続くと。ひよっとしたら次の年も、またオミクロンじゃないですけど、何らかの形でこういう非常に制限された形での教育活動が予想されています。その様な変化に対応する体制を失敗を繰り返しながら、その中の経験を生かして、より見通しを持った計画的な教育活動を展開していかなければならない場面にあるように思います。予想されますのは、やはりコロナ禍の中で、授業の中でも接触を伴う授業、体験的なアクティブラーニングなど本来、非常に大事な活動が長期にわたって疎外されていると。人間関係の面で分段という言葉がきつくなります。また、繋がりをも断つような活動を与儀なくされ非常に長い時間、苦勞をしながら学校教育活動が展開されていると、具体的には見えない色々な後遺症等が学校訪問をしておりますも聞こえてまいります。中間段階でも当然おやりになると思いますけれども、その辺りの弊害を集約していただいて、より改善の手というのは難しいかもしれませんが、そういったものを共有するというだけでも非常に大きいのかなと思います。

例えば、学校行事ができませんと。新1年生は、そういうことを経験しないまま2年生に行きます。2年生でも経験しませんと。元に戻ったときに、ほかの学年は共有しているんだけどそこが抜けてしまっている。あるいは、先生も新しく人事異動で来られて、そこらが共有できない。分かっていることだと思っていることが、通り抜けることによって教育活動に大きな落とし穴があったり、あるいは活動が非常にうまくいかなかったりと、様々なことが教育の隙間というのか、学校運営上の課題も出てきています。地域との関係でも、当然こんなのは分かっているはずだというのが人事異動等によって、そこに抜け落ちによって大きな問題が生じたというふうないろんなことが考えられます。コロナ禍の中で2年近く来たものの弊害の共有というものをぜひ進めていただきたいと思います。

それから、働き方改革のほうとか、女性登用とか、いろんな切り口がありますが、男女のバランスの問題で、例えば育休の関係で、非常にある時期に集中して育休を取られる方があると。当然、女性だけじゃなくて男性もお取りになる。こういうことによってある年度に思わぬ集中が出たために、講師で対応しなければならない。ところが、講師も今、そんなすぐに見つかる状況ではないと。だから、ダメージコントロールが非常に難しい状況になっていると。それを補える緊急の対応というのは何なのか。例えばICTで置き換えられる部分があるならば、そういうもので置き換えていく必要もあるでしょうし等々、そんなことを考えたりしています。また、予算の時期でもありますので申し上げますと、ICT等は、機器のほうは整えていただきまして、また、ICTの支援員ですか、これは非常に喜ばれております。ぜひ次年度もよろしくというようなご要望もありますけれども、ソフト関係ではどうですかということをお聞きしますと、特別支援関係での分析ソフトなど、私も細かいところまで及びもつかないですけども。ぜひ学校のほうに、要望事項を当然おまとめになるというふうには思いますけれども、ある学校であるものは、やはりよその学校でも必要になると思うので、共有すると合理的に経費節約にもつながるようなこともありますし、計画的に、それならばこういう使い方をしたらいいというふうな、逆のプラスの方向の考え方もできるかと思っています。色々申し上げましたけれども、コロナ禍の中、あるいは年度を次につなげていくというふうな時期に当たりまして、ぜひ1つの中間総括的なことをやられて、次年度に向けていただければありがたいと思います。以上です。



[川中次長]	<p>コロナの課題の部分ですけれども、校長会等を通じまして情報収集には当たっているところではございます。この2年間、確かに水泳も全くできていませんので、逆に、初任者の先生方が水泳指導をしたことがないというような状況で、そういうお話を伺っていることもございます。</p> <p>ほかに、これは橋本委員からもご指摘がありましたとおり、様々な行事でありますとかいろいろところで、今までやってきたこと自体が、そういう意味では逆にそれを見直す1つの大きなきっかけでもあるかな、新たな展開をしていく上での1つのきっかけでもあるかな、そういうふうにも捉えておりますので、以前も申し上げましたかもしれませんが、学校としては、やはりもう一遍子どもとか、地域との関係とか、保護者とかを見直し今までの取組がこれでよかったのかどうか。よりよい形にしていくためには、こういう形のアフターコロナ、ウィズコロナを見据えた上でどのような形が一番望ましいのか。そこはやっぱり子どもたちを、子どもを真正面に迎えながらやっていくべきだと思っております。その辺りの課題については、私どももきちっと整理はしていきたいなと思っております。</p> <p>講師不足ですけども、これは全国的な課題でありまして、決して京都府だけの問題ではありませんし、八幡市だけの問題ではございません。先ほど狩野委員からもご指摘ございましたけれども、既に穴の空いている学校があります。この穴が今、少人数指導であれば、そこを潰してしまうという形がある。ただ、特に小学校には学級担任が穴が空きますと、なかなかやっぱり学校運営が非常に厳しい。教務主任なり教頭なりが入っていきます。校長も下手すりゃ、学級に入ってきます。どうしても埋まらないときについては、私どものほうから指導主事を学校のほうに派遣して、何とか学校運営を支援しているような状態にはなっています。先ほども申しましたように根本的な解決は、なかなかこれは市町だけでできるものではございませんし、ここをどうしていくのかというのは本当に私どもも非常に苦慮しているところですし、学校の思いとしては十分分かりますので何とかしたいんですけど、ほんまにない袖は振れない、人が置けないというような状態にもなっているのが現状かなと思っております。</p> <p>4月の年度当初に向けて今から人事がスタートしていくわけですけれども、非常に頭が痛い状況にはなっています。ただ、4月のスタートでは、少なくともきちっと定数なりがそろったように何とかしていかなければならないと、そこは新たな決意をしているところでございます。</p>
[橋本委員]	よろしくをお願いします。
[教育長]	そのほか何かございませんか。よろしいでしょうか。
	それでは、ないようでありますので、次に、5. 配布資料につきまして、事務局より説明願います。教育総務課。
	5. 配布資料
[長尾課長]	今回の資料、まず、お手元にお配りしているのが2点ございます。
	・きょうとふの教育 No. 148
	・京都府市町村教育委員会連合会情報誌 No. 3
	もう1点、6月、7月の定例教育委員会と8月の臨時教育委員会の議事録については、この後、委員の皆さんにご署名を頂いてから、お配りをさせていただきます。
	以上です。
[教育長]	ありがとうございました。それでは、これにてその他のほうを終結いたします。
	次に、次回定例教育委員会の日程につきまして、事務局より説明願います。教育総務課。
[長尾課長]	次回の定例教育委員会の日程が、来年1月25日火曜日の午後3時から、分庁舎2階の会議室Aで行います。
	学校訪問につきましては、10時30分から有都こども園、11時30分から男山東中学校でございます。
	以上です。
[教育長]	他に何かよろしいでしょうか。



[教 育 長]

6. 閉会

それでは、以上をもちまして、12月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。どうぞご苦労さまでございました。

令和3年八幡市議会第4回定例会 請 願 文 書 表			
受理年月日	令和3年12月2日	受理番号	第 1 号
請 願 者 住所・氏名	京都府八幡市八幡福祿谷 144-8 八幡市子どもと教育・文化を守る会 代表 中村秀雄 他 1,575 名		
件 名	子育てを応援し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願		
紹 介 議 員	澤村純子		
請願趣旨	<p>*八幡市で「週1日」の夜間小児救急が開始されてから8年が経過しました。診療日を増やしてほしいという市民の願いは切実です。子どもの命と健康を守るため、八幡市としての特段の努力が求められます。</p> <p>*中学校卒業までの医療費無料化は、子育て世代を大いに励ましてきました。対象を「高校卒業まで」に拡充することは、「八幡での子育て」に一層の希望をもたらす先駆的な施策となります。決断が望まれます。</p> <p>*新型コロナウイルスの感染拡大から、子どもたちを守り、なおかつ子ども時代に不可欠な経験を最大限保障する知恵が求められています。学校・幼稚園・保育園・子ども園・学童保育・児童センター等で感染者が出た際には、濃厚接触者を狭めず、実態に応じ学級・学年・全校などに広げてスクリーニング検査を実施してクラスターを発生させないようにするとともに、安心して指導、援助にあたるよう、教員・職員には全員の検査の実施を求めます。</p> <p>*子どもたちが集団で学び、生活する施設の設備・備品や給食・掃除などのシステムを感染防止の観点から見直すことが今日必要になっています。また教職員の負担軽減のため人的な配置が現場では求められています。</p> <p>*昨年度40年ぶりに学級定数の改善が行われ、小学校2年生からの35人学級がスタートしました。新型コロナウイルスの感染防止とともに、コロナ禍の学校における子ども一人ひとりへの行き届いたケアを求める国民の声の反映です。京都府においても全会一致で早期の30人以下学級の実現を求める意見書が採択されました。小中高すべての学年での30人以下学級が早期に実現するよう、強く国に制度化を求めつつ、京都府が先んじて30人以下学級を制度化するよう八幡市としても後押しすべきです。</p> <p>*コロナ禍のもと小学校低学年の学級に配置されている指導補助教員の役割が高まっています。「30人を超える学級」という基準の見直しが求められます。</p> <p>*一昨年来前進している小学校の専科教員の配置は学校現場から歓迎されています。専門性の確保と教職員の働き方の改善のために、さらなる推進が必要です。</p> <p>*すべての小学校への図書館司書の配置は八幡市の誇れる施策です。しかし、中学校では4校を2人の司書が担当しています。各学校の実状に即した、通年の読書活動を可能にし、思春期にある中学生の読書へのニーズにも応えるために、早急に4中学校すべてに専任の図書館司書を配置すべきです。</p> <p>これらの制度の実施・拡充を京都府に働きかけるとともに、八幡市独自の施策としても推進することを求めます。</p> <p>*コロナ禍による経済の停滞は、保護者の営業や雇用を直撃し、子どもの就学にも大きな影響を及ぼしています。憲法にも謳われているように無償であるべき教育費が家計に負担を与えることは、本来あってはならないことです。伊根町や笠置町、井手町で実現している自治体独自の小中学</p>		

生の給食費・教材費・修学旅行費等の無償化は先駆的な取り組みです。八幡市も20数年前実施されていた修学旅行費の補助の復活や給食費・教材費等の補助の実施によって教育費の保護者負担の軽減の一步を進めてください。

*私たちが求めている請願事項は「八幡市子ども条例」の理念の具現化そのものです。子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝くまちをつくるために、八幡市に対し以下のことを請願します。

請願事項

- 市内での小児夜間救急の診療日を増やしてください。
- 子どもの医療費を高校卒業まで無料にしてください。
- 新型コロナウイルスの感染から子どもたちの命と健康を守るための条件整備を強化してください。
 - 学校・幼稚園・保育園・子ども園・学童保育・児童センター等で感染者が出た際には、実態に応じ学級・学年・全体などに広げてスクリーニング検査を実施するとともに、教員・職員の全員検査を実施してください。
 - コロナ感染防止のために子どもたちが集団で学び、生活する施設での非接触型水栓への切り替えや換気設備等の拡充を進めてください。
 - 清掃や衛生に関わる業務に人員を配置してください。
- 感染症の拡大を防ぎ、一人ひとりにゆきとどいた教育を保障するために国、府と連携して学級の人数を少なくし、教職員を増やしてください。
 - 小・中・高校のすべての学年で30人以下の学級編制が可能になる教員配置を国、府に強く働きかけてください。
 - 小学校低学年の指導補助教員の配置基準の引き下げと2年生補助の通年化を京都府に求め、市独自でも実施してください。
 - 小学校の英語・音楽・理科などの専科教員の配置を京都府に求め、市独自でも推進してください。
 - 全ての中学校に図書館司書を配置してください。
- コロナ禍による保護者の経済的困難を支援し、教育の無償化をすすめるために給食費・修学旅行費などを軽減してください。

2021八幡市民マラソン大会参加状況について

種目番号	種目名	申込人数			参加人数		
		申込	八幡	市外	参加	八幡	市外
1	A:10km高校生・一般男子	149	101	48	132	88	44
2	B:10km高校生・一般女子	26	21	5	21	16	5
3	C:3km小学3・4年生男子	92	86	6	70	65	5
4	D:3km小学3・4年生女子	37	36	1	36	35	1
5	E:3km小学5・6年生男子	96	94	2	81	79	2
6	F:3km小学5・6年生女子	35	35	0	27	27	0
7	G:3km中学生男子	58	58	0	51	51	0
8	H:3km中学生女子	4	3	1	4	3	1
9	I:3km高校生・一般男子	19	13	6	15	10	5
10	J:3km高校生・一般女子	13	10	3	11	8	3
11	K:2km親子ペア	63	58	5	56	51	5
12	L:2km小学1・2年生男子	57	55	2	51	49	2
13	M:2km小学1・2年生女子	21	21	0	18	18	0
合計人数		670	591	79	573	500	73

【新型コロナウイルス感染症対策】

参加資格 : 八幡市内在住・在勤・在学者に限る

競技種目 : 13種目(通年15種目から2種目減)